

令和6年能登半島地震

石川県両師会 災害対策本部の活動経緯（令和6年2月）

2月2日 県庁・鍼灸マッサージケアルーム（支援者支援）。

受療者 11名・施術者 5名。

県庁ケアルーム終了 総受療者数 257名（延べ） 総施術者数 94名（延べ）

2月4日 定池副本部長、DSAM 是元委員長、山崎鍼灸師会副会長（志賀町）とともに被災者支援調査の先遣隊として志賀町 健康福祉課長、保健師と協議。

スポセン 1.5 次避難所での被災者支援活動第4回
(DSAM 主管・毎週日曜)。

受療者 21名・施術者 9名。本日より2名ずつで毎日曜日に DSAM 珠洲市役所支援者支援を毎日曜日



2月5日 常盤本部長、DSAM 仲嶋副委員長が山崎副会長へ挨拶。特別養護老人ホームあかみ施設長と施設の現状や支援者・被災者支援について協議。

活動拠点は富来活性化センター避難所に決定。責任者の富来支所支所長と協議。



2月6日 竹田理事（鍼灸マ会）と仲嶋副委員長が富来活性化センターにて活動の具体的な内容について協議。能登中部健康医療福祉調整本部（七尾市）の圓角医師（公立能登中央病院）に同センターにて被災者支援を行なうことを伝えた承。



2月7日 田中事務局長、仲嶋副委員長が輪島市役所にて DMAT 本部に挨拶。全体会議に出席後、避難所状況や避難所に入るための説明を受ける。引き続き輪島中学校（避難所）でアセスメント。健康管理に避難所の状況説明を受け、施設視察。能登中部保健福祉センター（七尾市）での健康医療福祉調整本部定期会議に出席。DMAT 事務局、保健所所長、連絡担当の健康推進課長にも挨拶と面談。



2月8日 常盤本部、仲嶋副委員長が珠洲市役所にて支援者支援担当の岡田氏に挨拶。

DMAT 小早川医師と現状を協議。

特別養護老人ホーム長寿園にて支援者支援として 18 名を施術。施術終了後、健
康医療福祉調整本部に報告。

第 4 回 DSAM 会議に出席 (常盤、定池、田中、中村)。

2 月 11 日 スポセン 1.5 次避難所での被災者支援活動第 5 回 (DSAM 主管・毎週日曜)。

受療者 21 名・施術者 9 名。

第 4 回災害対策委員会 (両会合わせ 9 名出席)

2 月 15 日 両師会の災害支援用ビブス完成、到着。

2 月 18 日 スポセン 1.5 次避難所での被災者支援活動第 5 回 (DSAM 主管・毎週日曜)。

受療者 17 名・施術者 7 名。DSAM は珠洲市役所に加え輪島市役所へ各 2 名の
施術者で支援者支援実施 (鍼灸師会現地会員も輪島にて参加)。

2 月 25 日 スポセン 1.5 次避難所での被災者支援活動第 6 回 (DSAM 主管・毎週日曜)。

受療者 32 名・施術者 5 名。

2 月 27 日 両会それぞれ日本財団の「令和 6 年能登半島地震に関わる支援活動」について
支援金申請書を提出。

